

令和7年度 特別の教育課程（書道科）の実施状況等について

北城小学校

1. 本校の教育目標

充実した学校生活を通し、児童の個性と創造性を伸ばし、知・徳・体の調和がとれた人間形成を図るとともに「生きる力」を育み、社会の変化に主体的に対応できる活力ある人間を育成する。

<教育目標>

- 健康でねばりづよくがんばる子 (健康)
- すすんで勉強する子 (学習)
- よく働く子 (勤労と責任)
- 仲よく助け合う子 (協力)

2. 特別の教育課程の内容

（1）特別の教育課程の概要

小学校第1～6学年において新教科「書道科」を新設する。第1学年は、国語を30時間、生活科を4時間削減して新教科に充て、第2学年は、国語を30時間、生活科を5時間削減して新教科に充てる。第3～6学年は、国語を30時間、総合的な学習の時間を5時間削減して新教科に充てる。「書道科」において、書を書くという具体的な活動を通し、友だちと触れ合ったり、家庭生活での話題をもたらしたり、地域の人々とのかかわりを生んだりする。そこから、集団の中での自分の役割や行動の仕方を考えさせるとともに、「書のまち」に生きるよさと愛着をもたせる。

また、「書道」という伝統文化や「書のまち」を発信する地域の特性を探究する活動にも取り組むことを通して、表現力の向上と向上心の伸長を図るとともに、日本古来の文化や自分の生活する地域を振り返りながら自己の生き方をも考えさせる。

（2）特例の適用期間

平成27年4月1日～令和11年3月31日

（3）実施学年

1年、2年、3年、4年、5年、6年、特別支援学級

（4）地域の特色を生かした特別の教育課程を編成して教育を実施する必要性

本市は、三蹟のひとり小野道風の生誕の地と言われており、全国的にも数少ない書専門の美術館小野道風記念館を有し、「書のまち春日井」として、書道の普及発展に力を入れている。特に、小野小学校では、愛知県下児童・生徒席上揮毫大会が昭和11年から戦争中も途切れることなく開催され、第1回からの優秀作品を保管するなど、愛知県の書道教育の中心的な役割を果たしてきている。

書道は、「文字を正しく整えて書く」ことにおいて、従前から行われてきた国語科における書写の目的に共通するが、その文化・芸術性及び精神性においては、書写とは一線を引くものである。現在、児童の「表現力の向上」「心の教育の充実」などが重要な教育課題であると認識している。それらを解決するため、前述した地域性や学校の特色、さらには書道の特性を活かした「書道科」を新設し、表現力の向上を目指すとともに、よりよい作品をつくりあげようとする向上心、つくりあげた達成感から得られる自尊感情、相互評価などの他者との関わりから得られる親切心や規範意識等、特に心の充実を図りたいと考える。また、同時に郷土愛についても、書道を通して「書のまち春日井」に根ざして生活している自覚を促し、育っていく。

(5) 学校教育法等に示す学校教育の目標との関係

2に記載する特別の教育課程について、教育基本法（平成18年法律第120号）及び学校教育法（昭和22年法律第26号）に規定する小学校等の教育の目標に関する規定等に照らして適切であることを、春日井市教育委員会において確認済。

3. 特別の教育課程の実施状況に関する評価

(1) 評価の観点

- ① 特別の教育課程の編成・実施により、学校の教育目標が十全に達成されているか
- ② 教育課程全体としてバランスのとれた教育活動が実施され、学校教育法に示す学校教育の目標が十全に達成されているか

(2) 自己評価

児童	<ul style="list-style-type: none">・字をうまく書く「こつ」が分かった。・上手なところを褒めてもらってうれしかった。・どこが上手に書いていて、どこが上手に書いていないのかが分かった。・積極的に関わってくれて習字の楽しさが分かった。・うまく書けたところをたくさん褒めてくれてやる気が出た。・筆の使い方や力加減が上手になりました。・自分の名前の漢字のこつを教えてほしいです。・冠山先生が直接授業をするスペシャル授業をしてほしい。・字のバランスをもっと教えてほしいです。
教員	<ul style="list-style-type: none">・水習字の基本的な指導（姿勢や筆の持ち方、用具の使い方など）を一緒にすることができ、大変助かっています。年間回数は少なくとも、毛筆学習の基本が徐々に身についている様子が見られます。・専門性の高い指導・アドバイスをしてもらえた。・朱入れの個別指導が二体制で行うことができるので助かります。・書の先生がみえるということで子どもたちのモチベーションも上がった。・私自身は水習字の経験もあまりないので、書道科講師の先生が、学習の進め方から美しく書くための筆遣いまで教えてくださるのが、とてもよかったです。
保護者	<ul style="list-style-type: none">・書道教室に通っていないので心配していたが、筆で書くことに慣れ上手にかけるようになりました。・習字習ってませんけど、上達していくびっくりです。・学校での書道科授業は本人は楽しみにしているようです。好きなようで意外にもうまく書ける子供の新たな一面の発見になりました。・教え方、説明の仕方が上手。通りかかった際に褒めてくれたりアドバイスしてくれたり、一緒に書いてくれたりして嬉しい。・さまざまなデジタル化により、文字を書く機会が減少しています。筆で書くことが現代において必要かと言われると、大人になってもほとんど使いません。ですが、字の上達だけでなく集中力等も培われるため、授業数を減らすことなく継続してほしいです。・学校で書道を教えて頂けるのはとてもありがたいと思います。グローバルな時代こそ日本文化を大切にして欲しいです。

(3) 学校関係者評価

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none">・書道科講師を市が派遣してくれるのは大変ありがとうございます。今後も続けていただきたいです。・専門の指導を楽しみにしている児童の様子がうかがえます。また、技術向上に繋がっています。・なかなか打合せの時間が取れないことが課題でしたが、書道科講師にも教科書が配付されたことにより、以前より打合せがしやすくなりました。 |
|--|